

戦争のない平和な世界を目指して

富士見市長 星灯光弘

終戦77年を迎えるにあたり、戦場でたおられた御霊、戦禍に遭われ亡くなられた御霊に謹んで哀悼の誠をささげます。また、世界恒久平和の実現に向け、たゆまぬ努力を続けてこられた方々に対し、心から感謝を申し上げます。

世界に目を向けますと、本年2月24日にロシアがウクライナに軍事侵攻を開始してから5か月がたちます。ウクライナ侵攻にかかる報道により、美しかった街並みはミサイルなどによる攻撃でがれきの山となり、罪のない一般市民が一瞬にして日常を奪われていることを目の当たりにし、深い悲しみを感じています。

ロシアの行った行為は、ウクライナだけでなく、国際社会の平和と秩序を脅かし、武力行使を禁ずる国際法、国際連合憲章に反する行為であり、断じて容認することはできません。私は非核平和都市を宣言した本市を代表し、ロシアに対して強く抗議するため、3月4日にロシア大使館へ抗議文を送付いたしました。

また、ロシアは、凄惨な被害をもたらす核兵器保有による威嚇を行っており、世界で唯一の被爆国である日本で暮らす私たちは、こうした行為を決して許してはなりません。

せん。政府は、G7をはじめとする国際社会と協力し、厳しい対ロシア制裁を科すとともに、ウクライナへの支援を行っています。戦争の惨禍を二度と繰り返さないために、今こそ世界が一致団結し、平和な世界を実現していく必要があります。

本市では、昭和62年に「富士見市非核平和都市宣言」を行い、実行委員の皆様と連携して開催するピースフェスティバルをはじめ、平和事業を毎年実施し、平和の大切さについての啓発活動を行っているほか、広島・長崎の原子爆弾投下日と終戦記念日には、1分間の黙とうを呼びかけております。また、私は、8月6日に開かれる広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に、非核宣言自治体首長として参加を予定しており、本市を代表して、原子爆弾により尊い命を失われた方々のご冥福と世界恒久平和の実現を祈念してまいります。

市民の皆様におかれましては、終戦の日である8月15日を中心に「富士見市非核平和都市宣言」をお読みいただき、この美しい地球のどこかで戦争が続いている現状を認識し、改めて、一人ひとりが平和の大切さ、尊さについて考える機会にさせていただきたいと思っております。

富士見市非核平和都市宣言

私たちは 何よりも家庭の平和を願い 世界の平和を願っています

しかし 地球をおおっている核兵器は 世界の平和と安全を脅かしています

私たちは 広島・長崎の過ちを 再び繰り返させてはなりません

私たちは 平和憲法を大切にし 世界中の人びとと手をつなぎ 核をもつすべての国に「今すぐ核兵器を捨てよ」と訴えます

この市民の声と願いを

非核平和都市 富士見市の宣言とする

1987年7月19日

黙とうを捧げましょう

市では、原子爆弾や第2次世界大戦で犠牲になられた方々のご冥福と、核兵器をなくし平和な世界が実現することを願い、次の日時に防災行政無線を通じ、市民の皆さんに1分間の黙とうのご協力をお願いしています。

【広島市原子爆弾投下日】 8月6日午前8時15分

【長崎市原子爆弾投下日】 8月9日午前11時2分

【終戦記念日】 8月15日正午

